



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第161号

平成28年7月19日(火)

発行：久保総合会計事務所

〒536-0006

大阪市城東区野江4丁目11番6号

TEL (06) 6930-6388

FAX (06) 6930-6389

2016年分路線価は8年ぶりに上昇 日本一は31年連続で銀座「鳩居堂前」

全国の国税局・税務署において7月1日、相続税や贈与税の土地等の課税評価額の基準となる2016年分の路線価及び評価倍率が公表された。今年1月1日時点の全国約32万8千地点における標準宅地の前年比の変動率の平均は0.2%（昨年▲0.4%）とわずかながら上向き、8年ぶりの上昇となった。

都道府県別の路線価をみると、標準宅地の評価基準額の対前年変動率の平均値の上昇率が「5%未満」の都道府県は、昨年分の1都2府7県から1都2府11県の計14都府県に増えた。下落率が「5%未満」の都道府県は昨年の35道府県から33道府県に減少し、下落率が「5%以上」の都道府県は昨年に引き続きゼロとなった。路線価が8年ぶりに上昇した要因には、金融緩和等の後押しもあり不動産向け投資が拡大したことや、訪日外国人の増加を見込んだ店舗・ホテル需要の高まりなどがある。

都道府県庁所在都市の最高路線価では、1位は東京・中央区銀座5丁目の「銀座中央通り」で、1平方メートル当たりの路線価は前年から18.7%上昇の3200万円となった。以下、大阪・北区角田町の「御堂筋」1016万円（増減率+22.1%）、名古屋市中村区名駅1丁目「名駅通り」840万円（同+14.1%）、横浜市西区南幸1丁目の「横浜駅西口バスターミナル前通り」781万円（同+9.5%）と続く。

路線価日本一は、31年連続1位となる東京・銀座「鳩居堂前」（1平米3200万円）で、新聞紙1枚当たり約1411万円となる。